

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 新 規格外農産物等活用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 流通企画係 電話番号：058-272-1857

E-mail: c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 600千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	600	0	0	0	0	0	0	0	600
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

日常的に食品が廃棄され大量の食品ロスが発生するなか、その削減を図るため令和元年10月に食品ロス削減推進法が施行。県においても「県食品ロス削減推進計画」の策定に向けた取組が進められ、農業生産段階においても未利用食品の活用や、農林漁業者への啓発等が求められている。

一方、生活困窮やひとり親、困窮学生など食べ物に困る方がコロナ禍により顕在化し、これらの方々に未利用食品を届けるフードバンク活動や子ども食堂等の取組みが存在感を増すとともに、これらの取組みにおいて未利用食品を安定して確保したいというニーズが高まっている。

みどりの食料システム戦略の実現に向けた取組みが進められる中、フードサプライチェーンの上流部（農業生産段階）においても未利用食品の新たな活用を促進し、持続可能な消費の拡大に向けた取組が必要である。

(2) 事業内容

生産者、生産者団体等を対象に、フードバンク活動や子ども食堂の取組みの理解促進など食料支援に対する意識啓発や取組事例の紹介・PR等を通じて、未利用食品の新たな活用を促進する。

- ・生産者、生産者団体等に対する意識調査の実施、フードバンク活動等の理解促進を図る研修会等の開催
- ・農業フェスティバル等でのフードバンク活動等の取組事例紹介・PR

(3) 県負担・補助率の考え方

生産者に対する新たな取組みの理解促進・啓発であることから、県が負担

(4) 類似事業の有無

類似事業：食料産業・6次産業化交付金（フードバンク活動の推進事業・国庫）

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	126	講師謝金
旅費	136	費用弁償、業務旅費
需用費	157	研修会資料、啓発チラシ、PR資材、アンケート調査
役務費	55	郵送料
使用料	126	研修会会場借上
合計	600	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県食品ロス削減推進計画

- 1 - (3) フードロスチェーンにおける食品ロス削減
- 2 - (1) フードバンク活動・フードドライブ等の支援

(2) 国・他県の状況

- ・一部の県でフードバンク活動等の促進に向けた取組を実施（様式10）
- ・農林水産省策定「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた具体的取組みにおいて、本事業の主旨に沿った「持続可能な消費の拡大」が位置づけ。

(3) 後年度の財政負担

生産者等への理解促進を図るため、岐阜県食品ロス削減計画期間中は継続

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

【フードロスの削減】
未利用食品を食品として活用したフードロスの削減の取組み推進

【体制整備の促進】
令和12年までに、45団体の取組がフードバンク等へ未利用食品を定期的に供給する取組みとして定着

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
① フードバンク等へ未利用食品を定期的に供給する団体の増加数	0 団体	0 団体	0 団体	7 団体	45 団体	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・フードバンクについて理解促進を図るHPを県HP内に設置し、フードバンクの仕組みや活動団体を紹介した。その結果、4件の利用希望者、4件の寄附等希望者からの問い合わせがあり、所要の対応を行った。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3 食品ロス削減におけるフードバンク等への食料提供の取組みは、コロナ禍の長期化により生活困窮等で食料を必要とする方が顕在化するととともに、報道等におけるフードバンク等の取組みへの注目により、必要性が増加している。</p> <p>そして、その推進に当たっては福祉、子ども関係部局との連携調整が不可欠であることから、県の関与が必要である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>新たな取組みを行う生産者団体等に対し、きっかけとして支援を行うことが必要</p> <p>○フードバンク活動や子ども食堂の取組み等への食料支援の仕組みづくりの取組みに対する補助</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>岐阜県農業フェスティバル（10月第四土日） 【農産物流通課】 食品ロス月間（10月）に合わせた普及啓発イベント【県民生活課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	<p>広く県民に普及啓発する時期に合わせ生産者にもPRを図り、啓発効果を高める。</p>

